

キッズだより



令和6年6月 第27号
たかといちどいキッズ

子は親の鏡

「誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ」

子どもを誉める（保育園では認める）ことは、大切な愛情表現の一つです。子どもは、認めてくれた言葉に励まされて、自分は愛されている存在なのだと感じるのです。子どもの頃に、認められた経験が心の栄養になり強い支えになります。子どもが大きくなり様々な困難にぶつかった時も、その時の認められた記憶が支えになります。もし認められる経験がなく育ってしまうと、自分はダメな存在なのだと思います、何かをしよう、やってみようという気持ちになりません。

認めるタイミングとしては、出来たことだけを認めるのではなく、その過程を一つひとつ認めていくことが大切です。例えば、靴を履こうとしている時、「履く方向が合っているね」「かかとまでしっかり持っているね」「テープ止められたね」とその状況を認めていきます。ごはんを食べている時もそうです。「スプーンで上手にすくえたね」「あーんができたね」「たくさんモグモグしているね」「ゴックンできたね」と認められている感覚が子どもにいい影響をおよぼします。

キッズでこんな姿に出会いました。2人のにし組の子どもが積み木で、動物の家を作っていました。「ここは、ごはんを食べるところ。ここは、ねんねするところ」と説明している友だちに対して「すごい！ すてきなうちだね。きりんがうれしいってっているね」と一緒に喜んでいました。声を掛けられた子どもは、すごくうれしそうに笑顔で「うん」と答えていました。素敵な場面に遭遇できて私も嬉しく思いました。認められた子どもの大きな喜びと友だちのすばらしさを素直に伝えられる優しい心に癒されました。

毎日忙しくバタバタと時間は過ぎていきますが、1日1回ぐらいは、どんなことでも認めていきたいと思います。皆さんも心掛けてみてはいかがでしょうか。



北坂 美知子



6月の予定



誕生会 4日（火）
避難訓練 10日（月）
救急訓練 19日（水）
発育測定 21日（金）

歯科健診 6日（木）
尿検査回収日 17日（月）・18日（火）
内科健診 20日（木）
プール開き 24日（月）



あひる・ひかり・ひまわり



保育士が「もぐもぐしようね」「おいしいね」と声をかけながら介助すると「あー」と喃語を発し、美味しそうに食べています。口の中の物がなくなると、皿を指差しちょうだいとアピールをするほど食べるのが大好きなようです。「人参だよ」「上手に食べているね」などと声をかけ、楽しい雰囲気の中で食事ができるようにしていきます。

保育室にも慣れ探索活動を楽しんでいます。今月は、マットやトンネルを使って遊び、保育士も一緒に体を動かすことで楽しめるようにしていきたいと思います。



今月のねらい：保育士と一緒に体を動かして遊ぶことを楽しむ



ひかり・ひまわり



天気の良い日は、散歩車に乗ったり、保育士と手を繋いで歩いたりして散歩に出掛けます。子どもたちの好きな消防車や救急車を見に消防署へ行きました。救急車を見て「ピーポー」「ブーブー」と言い、喜んでいました。広場では、シロツメクサや小石・だんごむしなど、様々な自然物に触れました。保育士の手に乗せて触れられるようにし、恐る恐る触ってみようとする姿を十分に認めると、嬉しそうにしていた子どもたち。これからも気づきや発見に共感することで、自然とのふれあいを楽しめるようにしていきます。

一人ひとりの眠くなるタイミングが違います。保育室の照明をすこし落としたり、絵本を読んだりして、ゆったりとした雰囲気を作り安心して眠れるように関わっていきます。



今月のねらい：安心して、一定時間眠る



ひかり・ひまわり



子どもたちは食べ物に興味津々。子どもたちと一緒に給食を食べながら、「人参食べてみる?」「魚おいしそうだね」などと声を掛けると、食べ物を指差したり、「にんじんたべたよ」「おいしいね」と保育士に伝えたりしています。一緒に食べて美味しさを共有したり、「おいしい?」「いっぱい食べたね」などとやり取りしたりして、楽しい食事の時間にしていきます。

今月は、のびのびと体を動かせるよう様々な場所へ散歩に出掛けたり、室内でも十分に体を動かせる遊びを取り入れたりしていきます。



今月のねらい：体を動かして遊ぶことを楽しむ



保育士が洗い方を伝えたり見本を見せたりしながら、一緒に手洗いをする、「あわをかして」「こうやってするんだよ」「ゴシゴシだね」など友だちと確認しあって丁寧に洗おうとしています。指の間や手首など細かい所まで洗うことに気づけるように、声をかけながら見守っていきます。

うんべん



最近便座に興味をもっている子どもたち。少しずつ便座に座ることに慣れていけるように、一人ひとりタイミングをみて座るように声をかけていきます。



あわあわだね



ゴシゴシ



ばいきん
バイバイ



今月のねらい：便座に座ることに慣れる



《 タケノコに触ってみよう! 》



5月は、『こどもの日』の食べ物について話をしました。初めに、柏餅やちまき、タケノコなどの写真を見せて、名前や由来、どのように生えているかななどを簡単に紹介しました。写真を見て「なにかな？」と不思議そうにしていた子どもたちですが、タケノコが実際に目の前に出てくると、興味津々で触っていました。初めて見るタケノコに慎重になり、様子を伺っている子どももいました。保育士と一緒に触ることで安心し、自分から触ろうとする姿も見られました。

タケノコの皮むき体験をしました。タケノコが大きくなると竹になることを知らせるために、食べられるサイズのタケノコと、少し成長したタケノコを用意しました。どちらも子どもたちと一緒に皮をむき、違いを見てもらうと、「おおきいね」「ながいね」「くねくねしてるね」など気づいたことを嬉しそうに伝えていました。子どもたちの発見に共感したり、感触を言葉にしたりすることで、思ったことを表現したり、もっと触ってみようとしたりする姿が見られました。タケノコはとても人気で、話が終わってからみんなでたけのこを囲んで何回も触ったり、匂いをかいだりしていました。写真で見ると、実際に見て触れることで、子どもたちの興味・関心に繋がると感じました。今後も様々な食について話を聞いたり、食材を実際に触ったりして興味が深まるようにしていきます。

荻田 珠輪羅



なんだろう？



くんくん…



ながいね



皮をむいたよ



柔らかいね



みてみて